Papier de Kirara

Journal de publier trois fois par an. Nouvelles sur le café SAYA et ses environs.

Publication

Date : 2014.05.05
L'émetteur : Kirara-sha
3-37-1 Kamiya,Kita-ku,Tokyo
URL : http://kirara-sha.com/
Twitter : @cafeSAYA

きらら舎ではフルカラー小冊子「きらら葉」と、このタブロイド版の新聞「Papier de Kirara」の２種類をフリーペーパーとして発行しています。「Papier de Kirara」は今号で６号目。自己紹介やコマーシャル、お知らせをメインに編集しています。年に３回の発行です。発行のスパンが長いので、手にしていただいた時期によっては過去の記事になってしまっているものもあるかと思いますが「ああ。そんなこともあったのか。」と、お読みいただければ幸いです。「きらら葉」については第36号より特集テーマを決めて保存版的内容に編集しています。

きらら舎とカフェ（cafeSAYA）

カフェは東京の隅っこの町にあります。平日は販売物の制作や発送作業をしなくてはならないため イベント前でない土曜日と時々日曜日というように、月に数日だけ営業しています。

小さな店にも関わらず 年々モノが増殖しているため現在は８席のみで、混雑時には相席をお願いしております。また、大きな荷物の持ち込みもご遠慮いただいております。 ご協力お願いいたします。

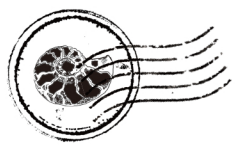
営業日や営業内容については、カフェのWEBサイトにてご確認ください。ご予約もそこからできます（お電話やメールでは受付けておりません）。ご予約がなくてもお買物は可能です（ワークショップによっては店内の照明を全て消していますので、ご注意ください）が、ご予約いただいたほうが、お席で選べる抽斗や切手箱、ワークショップなど、お愉しみいただけるものが多くなります。

わざわざ足を運んでくださるお客さまのため、新着の鉱物の販売などはカフェを優先おりますほか、きらら舎で完売しているものも、カフェでは在庫がある場合も多くあります。

また、カフェではワークショップもいろいろお愉しみいただけます。一般的なワークショップのように同じものをみんなで作るのではなく、材料と道具と少しのコツをご提供し、あとは自由に作っていただく、図工の時間のようなものが多く、また、理科の時間のようなものもあります。

cafeSAYA
http://cafesaya.net/

カフェのワークショップ



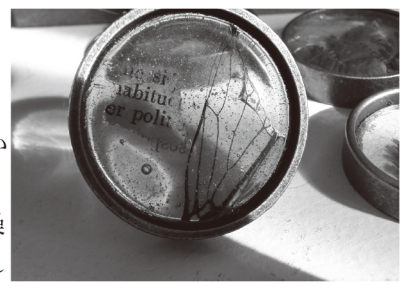
【鉱物倶楽部ワークショップ】
事前に予約が必要です。ワークショップというよりは鉱物を扱った理科の授業というほうが適しているかもしれません。また、このワークショップを行っている時間はご予約のないお客様のご入店はできませんので、ご注意ください。
★ 定番メニュー（必ず行うこと）
正しいルーペの使い方、水晶の螺旋の観察と水晶の音を聴く、蛍石の蛍光実験、蛍光のこと、様々な蛍光鉱物標本の観察（と撮影）
★ 日替わりメニュー
蛍石の話、雲母の話、鉱物のできる場所のこと、岩絵の具の話と岩絵の具で塗り絵をする、方解の結晶のいろいろ、鉱物と偏光、雲母を剥がす、雲母の燃焼実験、いろいろな水晶の話と観察、人工鉱物の話と観察・・・・・
★ 特別メニュー
カバンシ石とペンタゴン石の話と区別の仕方、菫青石の二色性の観察など、適した標本を入手した際に行います。使用した標本はすぐに販売しますので、同じ標本でのワークショップは１回限りとなります。
★ その他時間外メニュー（通常のカフェの時間に行えるもの。要予約）
八面体蛍石の劈開、晶洞割

【万華鏡】
２ミラーの深海万華鏡、３ミラーのアラベスク万華鏡のカスタマイズ。本体は先に製作してあるので、オブジェクトをお好きにブレンドするもので、通常のオーダー（税込2700円）より100円高くなりますがご用意したたくさんの鉱物の欠片や時計部品からお好きなものを詰められます。

【ペーパー万華鏡】
本体からキットを使って作ります。鏡の種類や万華鏡のしくみがわかります。ボディが紙なので簡易ではありますが 、オブジェクトには上の万華鏡と同じものを使ってカスタマイズできます。

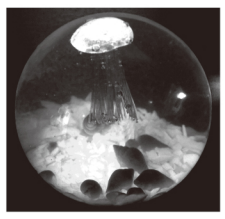
【鉱物タルト】
懐中時計のケースを模した金属の台に鉱物や王冠、キーなどのチャーム、切手などをタルトのように持って作るペンダントです。

【人工琥珀】



琥珀とは、木の樹脂が地中に埋没し、長い年月により固化したものです。そこで、松脂を使って琥珀もどき、つまり人工琥珀を作ろうというワークショップ。松脂はヴァイオリンの音を出すために弓毛に塗ったり、野球選手や体操選手のロージンバッグやハンダなどに使われています。カフェでは硝子壜を使ったものと、レジンワークショップで使う空枠を使ったものから選べます。

【海月グローブ】



これも中味をカスタマイズするだけですが、お好きな色の石や硝子、貝殻をセットできます。

【硝子ドーム標本】
直径約２５mmの硝子ドームに、鉱物を飾ったり、虹色滴を吊るしたり、切手や葉っぱの繊維を添えたりして小さな博物標本風オブジェを作ります。基本的な（料金内）セットでも完成品を作ることができますが、店内でご購入された鉱物標本や、キノコオブジェ、ミニチュアを使ったり、ご自宅から持ってこられたものを使ったりすることもできます。硝子ドームは天頂に穴が開いていて、何かを吊るしたり、それをふさぐカン付きなので、そこにチェーンを通してペンダントにすることができるタイプと、博物標本のミニチュアのように、シンプルなドーム型で置いて楽しむタイプがあります。

【鉱物テラリウム】

その時期に一番元気のいい苔と、鉱物を寄せ植えします。ウラングラスやプライザー（ドイツのフィギュアメーカー）のフィギュアも別売りでご用意しています。